

「肝胆膵画像」第13巻 総目次(2011年第1号～第7号)

各欄右端の数字は通巻頁数，()内は号数を示す

特 集

肝画像診断—US・CT・MRIのNext Stage

序説・肝画像診断の最新動向—Next Stage

角谷眞澄9(1)

各論

肝腫瘍診断のNext Stage—ソナゾイド®造影：肝細胞癌のサーベイランスへの応用

工藤正俊・畑中絹代・熊田 卓13(1)

Real-time Virtual Sonography (RVS)の最先端

岩崎隆雄・下瀬川徹21(1)

超音波による組織弾性イメージング—肝線維化の画像診断

飯島尋子・田中弘教・吉田昌弘・會澤信弘
西上隆之・廣田誠一・西口修平31(1)

マルチスライスCTによる肝画像診断の進歩 高速

化・高分解能化の動向

岡田真広・香川祐毅・熊野正士・柳生行伸
任 誠雲・今岡いずみ・足利竜一郎・石井一成
山田浩司・工藤正幸・工藤正俊・村上卓道37(1)

マルチスライスCTによる肝画像診断の進歩 肝灌流

検査としての臨床応用

吉川 武・大野良治・神田知紀・金田直樹
矢野嘉彦・瀬尾 靖・福本 巧・具 英成45(1)

MRIによる肝脂肪沈着と鉄沈着の診断

谷本伸弘51(1)

MRIによる肝線維症の病期診断—肝特異性造影MRI

とMR elastography

渡邊春夫・五島 聡・近藤浩史・兼松雅之59(1)

MRIによる肝予備能の診断—肝胆道系特異性造影剤

の有用性

山田 哲・上田和彦・藤永康成・黒住昌弘
角谷眞澄65(1)

肝門部胆管癌の進展度と手術術式

序説・肝門部胆管癌手術における諸問題

棚野正人117(2)

各論

水平方向進展からみた術式立案

右葉・尾状葉切除

江崎 稔・島田和明・阪本良弘・奈良 聡
小菅智男123(2)

肝門部胆管癌に対する右3区域・尾状葉切除の適応と実際

平野 聡・高田 実・田本英司・寺本賢一

村上壮一・松本 譲・加藤健太郎・土川貴裕

七戸俊明・田中栄一・近藤 哲131(2)

左葉・尾状葉切除

清水宏明・木村文夫・吉留博之・大塚將之

加藤 厚・吉富秀幸・古川勝規・竹内 男

高屋敷吏・須田浩介・久保木知・宮崎 勝139(2)

肝門部胆管癌に対する左3区域・尾状葉切除の適応と実際

江畑智希・横山幸浩・伊神 剛・菅原 元

高橋 祐・深谷昌秀・上原圭介・板津慶太

石黒成治・棚野正人147(2)

中央肝切除

太田岳洋・樋口亮太・谷澤武久・梶山英樹

小貫建一郎・植村修一郎・竹下信啓・浜野美枝

新井田達雄・山本雅一155(2)

垂直方向進展と脈管の合併切除

MDCTによる門脈浸潤診断と門脈合併切除の成績・意

義・適応

力山敏樹・吉田 寛・林 洋毅・元井冬彦

佐瀬友彦・片寄 友・江川新一・海野倫明163(2)

肝動脈合併切除

深見保之・江畑智希・横山幸浩・國料俊男

角田伸行・伊神 剛・菅原 元・高橋 祐

深谷昌秀・上原圭介・板津慶太・石黒成治

棚野正人173(2)

座談会

この症例の術式は？

太田岳洋・清水宏明・力山敏樹・棚野正人

真口宏介179(2)

経過を追えた小膵癌—この所見に気をつけろ！

序説・膵癌のハイリスクグループ

清水京子235(3)

症例呈示

慢性膵炎の経過観察中に膵癌の発生をみた1例

矢根 圭・真口宏介・高橋邦幸・瀧沼朗生

小山内学・階子俊平・金子真紀・原田 亮

加藤隆佑・加藤 新・安保義恭・中村 透

篠原敏也241(3)

膵石症と膵癌

笹平直樹・永野里枝・宮林弘至・山本恵介

毛利 大・川久保和道・木暮宏史・佐々木隆

伊藤由紀子・山本夏代・平野賢二・伊佐山浩通

多田 稔・小池和彦251(3)

糖尿病と膵癌		現在の区域解剖の理解と肝区域の新しい見方	
新名雄介・五十嵐久人・安田幹彦・石神康生		竜 崇正・趙 明浩	385 (4)
中村雅史・森松克哉・小田義直・高柳涼一		尾状葉の理解—caudate lobe と segment I	
伊藤鉄英	261 (3)	公文正光・斎藤 卓・公文龍也・並川 努	394 (4)
家族性膵癌		右側肝門索≠左側胆嚢	
阿部 永・元井冬彦・川口 桂・江川新一		進藤潤一・長谷川潔・國土典宏	405 (4)
杉田純一・海野倫明	269 (3)	区域間境界とは何か？	
分枝型 IPMN の経過観察中に通常型膵管癌を合併した 1 例		武石一樹・武富紹信・調 憲・前原喜彦	410 (4)
澤井勇悟・塩川雅広・栗田 亮・宇座徳光		画像からみた新しい肝の解剖学的理解と臨床応用	
児玉裕三・近藤響子・千葉 勉	277 (3)	3D シミュレーション画像からみる肝区域	
IPMN 浸潤癌体尾部切除後残膵に膵癌が発生した 1 例		三浦行矣・大西久美子・酒井慎治・栗山 巧	
川久保和道・多田 稔・伊佐山浩通・濱田 毅		青木祐子	415 (4)
永野里枝・宮林弘至・毛利 大・木暮宏史		Fusion 画像でみる肝の外科解剖	
佐々木隆・伊藤由紀子・山本夏代・笹平直樹		奥田康司・酒井久宗・木下寿文	425 (4)
平野賢二・別宮好文・太田 聡・國土典宏		静脈ドレナージ域を考慮した新たな肝領域切除	
深山正久・小池和彦	283 (3)	田中邦哉・熊本宜文・野尻和典・森隆太郎	
膵嚢胞の軽度増大を契機に診断された膵上皮内癌の 1 例		武田和永・遠藤 格	435 (4)
飯星知博・花田敬士・佐上晋太郎・弓削 亮		経皮的局所療法のための区域診断	
福本 晃・小野川靖二・平野巨通・天野 始		木村 達・大崎往夫	444 (4)
日野文明・大林諒人・福田敏勝・黒田義則		肝移植のための区域診断	
米原修治	291 (3)	田浦康二郎・小倉靖弘・上本伸二	456 (4)
IgG4 関連硬化性胆管炎 (IgG4-SC) における膵癌併発		膵・胆管合流異常と胆嚢病変	
例の検討		序説・膵・胆管合流異常と胆嚢病変—その多彩な病態	
窪田賢輔・渡辺誠太郎・細野邦弘・加藤真吾		花田敬士	471 (5)
島村 健・小林規俊・中島 淳	299 (3)	各論	
症例のまとめ		合流異常例の胆嚢病変の病理	
各症例からみた有効な経過観察方法		信川文誠・高瀬 優・福村由紀・八尾隆史	
山雄健次	307 (3)	須田耕一	475 (5)
肝区域と画像診断 update		胆嚢病変に対する画像診断	
序説・肝区域と画像診断		土屋貴愛・糸井隆夫・祖父尼淳・糸川文英	
青木 琢・國土典宏	339 (4)	栗原俊夫・辻修二郎・石井健太郎・池内信人	
総説		梅田純子・田中麗奈・殿塚亮祐・土田明彦	
肝区域理論の歴史		粕谷和彦・永川裕一・青木達哉・森安史典	481 (5)
小暮公孝	343 (4)	症例呈示	
各論		膵・胆管合流異常に合併した胆嚢炎症性ポリープの 1 例	
脈管解剖の基本と変異の理解		原田 亮・真口宏介・高橋邦幸・潟沼朗生	
発生学からみた肝の基本構築		小山内学・矢根 圭・階子俊平・金子真紀	
進藤潤一・長谷川潔・國土典宏	349 (4)	加藤隆佑・加藤 新・安保義恭・中村 透	
門脈・静脈のバリエーション		野路武寛・篠原敏也	491 (5)
木村 理・福元 剛・渡邊利広・平井一郎	355 (4)	胆嚢過形成の 1 例	
肝動脈の分岐様式と CT angiography による評価		神垣充宏・佐々木民人・芹川正浩・小林賢惣	
黒住昌弘・佐々木祥之・角谷眞澄	364 (4)	南 智之・岡崎彰仁・行武正伸・石垣尚志	
胆管のバリエーション		石井康隆・小酒慶一・村上義昭・尾田三世	
高橋 祐・江畑智希・横山幸浩・伊神 剛		有広光司・茶山一彰	497 (5)
菅原 元・國料俊男・角田伸行・深谷昌秀		胆嚢癌との鑑別を要した胆嚢病変の 1 例	
上原圭介・板津慶太・吉岡裕一郎・棚野正人	375 (4)	松崎晋平・岡野 宏・青木雅俊・磯野功明	
肝解剖をめぐる controversy		田中宏樹・石原禎子・佐瀬友博・齊藤知規	

馬場洋一郎・向 克巳・西村 晃・村田哲也 金兒博司・田岡大樹	504 (5)
膵・胆管合流異常に伴った胆嚢腺筋腫症内に認められ た上皮内胆嚢癌の1例 藤本武利・三輪 亘・中川雅夫・小熊将之 加藤 洋	511 (5)
ENGBD が診断に有用であった早期胆嚢癌の1例 大久保賢治・森田 清・竹内淳史・金沢宏信 清水潤一・下郷友弥・伊藤隆徳・竹山友章 橋詰清孝・西村大作・成田道彦・塩見正哉 片田直幸	518 (5)
膵・胆管合流異常合併胆嚢腺扁平上皮癌の1例 佐上晋太郎・花田敏士・弓削 亮・福本 晃 飯星知博・小野川靖二・平野巨通・天野 始 日野文明・大林諒人・福田敏勝・米原修治	526 (5)
胆嚢腺内分泌細胞癌 町田卓郎・堀田彰一・碓 修二・藤澤良樹 加藤貴司・佐々木清貴・山田裕人・加賀谷英俊 中村英明・目黒高志・岡村圭祐・藤田美芳 森田高行・高橋利幸	533 (5)
肝細胞癌の化学療法—分子標的治療の進歩と効果判定 序説・肝細胞癌の化学療法の進歩と効果判定 工藤正俊	581 (6)
各論 肝細胞癌の化学療法の進歩 肝細胞癌の全身化学療法の進歩と治療成績—殺細胞性 薬剤を中心に 古瀬純司・北村 浩・廣川 智・高須充子 長島文夫	587 (6)
肝細胞癌の分子標的治療の進歩と治療成績 工藤正俊	593 (6)
肝細胞癌の動注化学療法の進歩と治療成績 山下竜也・荒井邦明・金子周一	602 (6)
肝細胞癌の化学療法の治療効果判定 RECIST, Modified RECIST, RECICL による治療効果判定 池田公史・仲地耕平・光永修一・清水 怜 大野 泉・上野秀樹・森実千種・近藤俊輔 奥坂拓志	608 (6)
MDCT による治療効果判定 土谷 薫	614 (6)
Dynamic MRI による治療効果判定 多田俊史・熊田 卓・桐山勢生・谷川 誠 豊田秀徳・久永康宏・金森 明・曾根康博 小川定信	619 (6)
ソナゾイド®造影超音波による進行肝細胞癌に対する ソラフェニブ治療の早期治療効果予測 杉本勝俊・森安史典	627 (6)

PET による治療効果判定 塩見 進・小谷晃平・川村悦史・東山滋明 河邊譲治・田中弘教	633 (6)
膵炎—診断と治療の最前線 序説・膵炎の診断と治療—最近の動向 神澤輝実	673 (7)
各論 膵炎の疫学—全国調査より 正宗 淳・廣田衛久・佐藤賢一・下瀬川徹	676 (7)
急性膵炎 急性膵炎の新しい重症度判定基準と膵虚血評価におけ る perfusion CT の有用性 武田和憲	681 (7)
重症急性膵炎の特殊療法 竹山宜典	690 (7)
慢性膵炎 慢性膵炎の新しい臨床診断基準 片岡慶正・廣田衛久・下瀬川徹	697 (7)
早期慢性膵炎の画像 入澤篤志・渋川悟朗・高木忠之・佐藤 愛 池田恒彦・鈴木 玲・阿部洋子・二階堂暁子 小原勝敏・大平弘正	704 (7)
膵石症の治療 乾 和郎・芳野純治・若林貴夫・三好広尚 小林 隆・服部信幸・小坂俊仁・友松雄一郎 山本智支・松浦弘尚・成田賢生・鳥井淑敬 森 智子	711 (7)
膵仮性嚢胞の治療 五十嵐良典・伊藤 謙・三村享彦・原 精一 鎌田 至・岸本有為・岡野直樹・中野 茂	716 (7)
慢性膵炎の外科的治療の現状 伊佐地秀司	723 (7)
自己免疫性膵炎 自己免疫性膵炎の国際診断基準 下瀬川徹	729 (7)
自己免疫性膵炎と膵癌との鑑別 水野伸匡・原 和夫・脇岡 範・今岡 大 田近正洋・近藤真也・田中 努・小倉 健 羽場 真・永塩美邦・大林友彦・品川秋秀 長谷川俊之・清水泰博・丹羽康正・山雄健次	735 (7)

State of the Art

腹痛を契機に発見された膵 SPN の1例 堤 英治・中原和之・成田 礼・山之内健伯 上田城久朗・陣内克紀・田村文雄・清住雄昭 松川哲也・根岸孝典・宮本久督・廣田昌彦 明石隆吉	82 (1)
---	--------

術中造影超音波により腫瘍内血流が観察しえた胆管囊

胞腺癌の1切除例

渡辺雄一郎・野口典男・小川康介・佐藤公太
光法雄介・村形綾乃・伴 大輔・入江 工
工藤 篤・中村典明・田中真二・有井滋樹
山田哲夫・河内 洋・北川昌伸・山田昌彦
森安史典206(2)

粘液産生胆管内乳頭状腺癌の1例

松田史博・岡部純弘・赤穂宗一郎・越川頼光
竹田治彦・犬塚 義・中島 潤・金坂 卓
恵荘裕嗣・坂本 梓・邊見慎一郎・金 秀基
石川哲朗・齊藤澄夫・波多野貴昭・西川浩樹
関川 昭・津村剛彦・喜多竜一・圓尾隆典
木村 達・大崎往夫・若狭朋子318(3)

診断に苦慮した限局性肺炎の1例

李 仁・石橋潤一・二瓶公佑・中條恵一郎
水野浩志・濱本英剛・宮下祐介・奥蘭 徹
高橋佳之・羽根田晃・佐藤 俊・三宅直人
三島利之・松田知己・中堀昌人・遠藤希之
望月福治・長南明道642(6)

症例報告

胆嚢管原発と考えられた粘液癌の1例

吉田真誠・石渡裕俊・林 毅・梅田いく弥
加藤淳二・木村康利・平田公一・外岡暁子
三橋智子86(1)

嚢胞内に分化度の異なる癌腫成分を認めた IPMC の1例

芹川正浩・佐々木民人・井上基樹・小林賢惣
斎 宏・神垣充宏・南 智之・岡崎彰仁
行武正伸・石垣尚志・石井康隆・小酒慶一
上村健一郎・村上義昭・有廣光司・茶山一彰 ...212(2)

ソナゾイド®造影超音波検査を含む画像診断上肝細胞

癌との鑑別に難渋した肝血管筋脂肪腫の1切除例

廣瀬哲朗・小川 力・北村 浩・石川順英
西村充孝・山岡竜也・安田勝太郎・嶋田俊秀
荻野哲朗・西平友彦560(5)

C型慢性肝炎精査中に発見され肝細胞癌との鑑別が困

難であった肝硬化性血管腫の1例

田中友隆・守屋 尚・福田三郎・吉福良公
藤野初江・実綿倫宏・岡信秀治・久賀祥男
大屋敏秀・西田俊博646(6)

長期経過観察され、切除された肝細胞癌の1例

若杉 聡・平田信人・江原正明・山崎智子
北浦幸一・神作慎也・本間善之・小宮雅明
加納宣康・成田 信・星 和栄746(7)

講座—Q & A で綴る画像診断学再考

第24回 【第5回症例カンファレンスシリーズ】血管 貫通を認める肝腫瘍を考える

山下康行94(1)

第25回 【第6回症例カンファレンスシリーズ】充実 性の脾腫瘍を考える

山下康行322(3)

第26回 【第7回症例カンファレンスシリーズ】脾臓 の乏血性腫瘍を考える

山下康行654(6)

第27回 【第8回症例カンファレンスシリーズ】脾臓 の嚢胞性病変を考える

山下康行754(7)

臨床医に役立つ実践病理診断 病理医から臨床医へのメッセージ

第4回 胆嚢癌

鬼島 宏・諸橋聡子・佐藤冬樹76(1)

第5回 胆管癌

山野三紀・和田 了・松本道男・前川 博
佐藤浩一・玄田拓也・市田隆文・趙 成済
小川 薫・森 俊治195(2)

第6回 脾嚢胞性腫瘍の病理

須田耕一310(3)

第7回 乳頭部癌

山野三紀・和田 了・松本道男・前川 博
佐藤浩一・成田諭隆・玄田拓也・市田隆文
趙 成済・小川 薫548(5)

臨床医の放射線線量管理—放射線防護の基礎知識

第1回 事例からみる放射線管理の歴史

大野和子72(1)

第2回 透視検査における患者線量管理

大野和子192(2)

第3回 CT

大野和子542(5)

第4回 MRI

大野和子638(6)

第5回 IVR

大野和子742(7)

Clinical Challenge—この画像から何が読めるか？

腹部腫瘍

浮田雄生・新後閑弘章・大牟田繁文・権 勉成
前谷 容・大原関利章・高橋 啓100(1)

肝腫瘍性病変

香川祐毅・岡田真広・村上卓道	6(1), 220(2)
肝腫瘍	
今井康晴	114(2), 330(3)
肝腫瘍	
中山智博・田嶋 強・本田 浩	232(3), 566(5)
肝腫瘍	
山田康成・森 宣・高司 亮	468(5), 660(6)
肝腫瘍	
山村定弘	578(6), 762(7)
腹部腫瘍	
高橋邦幸	670(7)

書 評

『プロメテウス解剖学 コア アトラス』	
中田隆夫	12(1)

『パスでできる！がん診療の地域連携と患者サポート』	
小西敏郎	58(1)
『CRCのための臨床試験スキルアップノート』	
古川裕之	162(2)
『ティアニー先生の臨床入門』	
岸田直樹	250(3)
『プロメテウス解剖学 コア アトラス』	
小林 靖	268(3)
『細胞診を学ぶ人のために 第5版』	
畠山重春	547(5)
『病院内／免疫不全関連感染症診療の考え方と進め方 IDATEN 感染症セミナー』	
松村正巳	559(5)
『臨床に活かす病理診断学 第2版 消化管・肝胆膵編』	
角谷眞澄	770(7)